

(株)アクアヴェルデAWAJI (兵庫県南あわじ市)

実証面積：1.1ha

実証課題名

淡路島から発信！ほ場利用率300%が挑む、SDGs社会の実現に向けた施設園芸と露地野菜を組み合わせた ハイブリッド地域社会農業の実証

構 成 員

(一社)スマートな島ぐらし推進協議会、(株)アクアヴェルデAWAJI、リベラ(株)、(株)神戸デジタル・ラボ、ヤンマーアグリジャパン(株)、(福)淡路島福祉会、三篠環境整備隊、兵庫県立農林水産技術総合センター、南あわじ市産業建設部、神戸大学大学院、(一社)食品需給研究センター



背景・課題

- 水稲と露地野菜を組み合わせた三毛作が行われている。
- 高収益化と環境負荷軽減を目指し、超節水環境適応型ハウスを導入。
- 一方、担い手不足により安定的な労働力確保が課題。



本実証プロジェクトにかかる想い

南あわじ地域の農業は、その生産循環システムが日本農業遺産に認定されており、農業が盛んな地域です。

実証生産者は、新規就農者支援や農福連携にも積極的に努めています。

本事業では、スマート機器の活用による新たな雇用機会の創出を目指します！

目 標

- ミニトマト
摘葉作業時間を23%削減し、さらに秀品率を現状の70%から80%に向上する。
- ハクサイ
省力化機械の導入およびシェアリングにより、経営基盤強化と地域農業への貢献。

実証する技術体系の概要

要素技術

ミニトマト:熟練者並みの作業精度を実現するIT技術の活用【①自律自走式センシングロボット+②ウェアラブルデバイス】、ハクサイ:作業管理アプリ等を活用した農機のスマートシェアリング【③乗用管理機】

時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「見られる」ポイント										①		
										②		
							③					

①自律自走式センシングロボット



②ウェアラブルデバイス



③乗用管理機



問い合わせ先

▶実証代表

(一社) スマートな島ぐらし推進協議会

▶視察等の受入について

(一社) スマートな島ぐらし推進協議会 奥野 竜平
TEL : 0799-38-6107 e-mail : info@sil.or.jp